水資源機構

資料－６

水資源機構における洪水対応の取組（関東管内）

関東地方流域治水連絡会議　資料

令和８年１０月

独立行政法人水資源機構　ダム事業部管理業務課

洪水調節の実績（関東管内）

水資源機構

洪水調節

令和７年度は、矢木沢ダムで１回洪水調節を実施。
令和８年度は、矢木沢ダムで５回で、奈良俣ダムで１回洪水調節を実施。（令和８年９月末現在）

令和7・8年度　洪水調節の実績

年度	番号	日付（洪水流量に到達した日）	ダム名	出水原因	計画最大流入量 (m^3/s)	洪水調節開始流量 (m^3/s)	最大流入時の			洪水調節総量 (千m^3)
							流入量 (m^3/s)	放流量 (m^3/s)	調節量 (m^3/s)	
7	1	6月15日	矢木沢	前線	900	100	140.64	0.00	140.64	2,016
8	2	5月1日	矢木沢	低気圧	900	100	168.15	0.00	168.15	2,984
	3	7月13日	矢木沢	低気圧	900	100	181.26	0.00	181.26	1,774
	4	7月26日	矢木沢	前線	900	100	192.34	0.00	192.34	3,022
	5	7月30日	矢木沢	低気圧	900	100	335.74	93.21	242.53	3,282
	6	7月30日	奈良俣	低気圧	370	80	104.69	0.00	104.69	521
	7	8月30日	矢木沢	前線	900	100	140.70	0.00	140.70	557

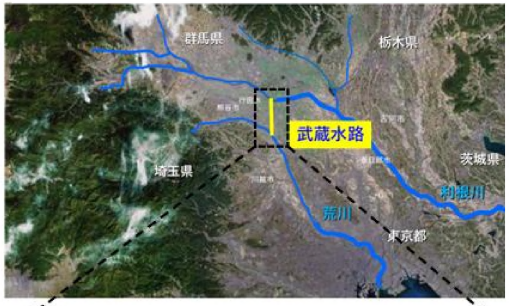
内水排除の実績（関東管内）

水資源機構

武蔵水路内水排除操作

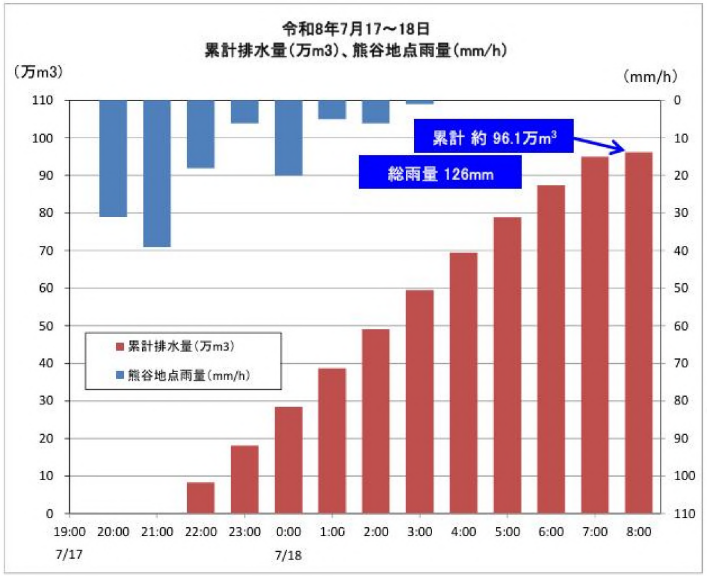
武蔵水路では令和７年度に２回、令和８年度に４回の内水排除を実施。（令和８年９月末現在）

令和8年7月17～18日雷雨に伴う武蔵水路内水排除操作

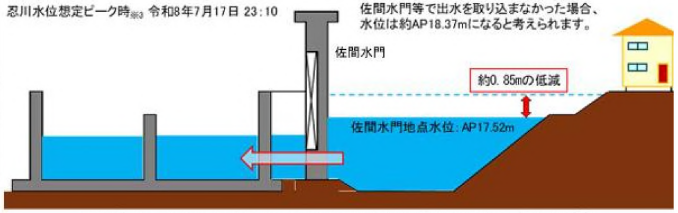




武蔵水路 水門・放流口等位置図
(赤字の施設は内水排除操作を行った施設)







忍川流域※1からの出水取込みによる忍川（佐間水門付近）の水位低減効※4

- 7箇所の水門・放流口により出水を武蔵水路に取り込み、累計約96.1万m³※4を荒川へ排水しました。これは、東京ドーム（124万m³※5）約0.7杯分の量に相当します。
- 忍川流域※1、元荒川流域※2で出水を取り込んだことにより、忍川（佐間水門付近）で約0.85m、元荒川（川面水門付近）で約0.04mの水位低減効果※4があったものと推定されます。

※T.P.（東京湾平均海面）0.0m＝A.P.（荒川工事基準面）1.13m

注）値は速報値であり、後日見直されることがあります。

※1 佐間水門+旧忍川放流口+堤根放流口からの取込み量　※2 川面水門+川面放流口+赤見台放流口からの取込み量
※3 武蔵水路に内水を取り込まなかった場合の忍川ピーク水位　※4 取込み量及び低減値は水資源機構試算
※5 東京ドームHP(https://www.tokyo-dome.co.jp/dome/about/)